

## 株主メモ

決算期日	毎年12月31日
定時株主総会	決算日より3カ月以内
上記基準日	毎年12月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
配当金受領株主確定日	利益配当金 12月31日 中間配当金 6月30日
公告の方法	電子公告の方法により行います。 但し、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL <a href="http://www.fancom.com/">http://www.fancom.com/</a>
名義書換代理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先 電話お問合せ先	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店

F@N  
COMMUNICATIONS

## 株式会社ファンコミュニケーションズ

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-1-8 青山ダイヤモンドビル4階  
Tel.03-5766-3792 <http://www.fancom.com/>



地球環境に配慮した大豆油  
インキを使用しています



印刷・包装に100%大豆由来のインキを使用しています

## 私たちは、ニッポンのマーケティング習慣を変革する、「オンリーワン」のネットワークマーケティング企業を目指しています。

インターネットは私たち消費者の消費活動を変えてきております。それはEコマースだけでなく、リアルの小売店で購入する際にも、価格や既存利用者の情報をネットで事前チェックするという形で定着しつつあります。また、こうしたネット上の情報は、「消費サイドの情報」として、マス広告から一方的に送り出される「売り手サイドの情報」よりも重要性が高まってきております。

私たちの仕事は、この「消費サイドの情報」を利用する消費者と売り手である広告主との接点を見つけ出し、ネットを通じ結びつける仕事です。地味な作業の連続で派手さはありませんが、新しい付加価値を生み出していると確信しております。

2005年12月期の売上高42億70百万円、営業利益8億1百万円は、私たちが年間を通じて生み出した、この価値の評価だと考えております。また、前期より大きく数字を伸ばせたことを大変嬉しく思っております。

当社は昨年、創業から約6年でJASDAQ証券取引所に上場することができました。夢と信念だけで数名でス

タートしたこの事業も、現在100名近いスタッフと多くの株主の皆様を支えられていると考えると、大変感慨深いものがあります。

一部には、粉飾疑惑などによりIT企業の存在価値を問い直すような風潮もございますが、当社は株主の皆様からご投資いただいた資金を活用して、ネットで変革する社会の中で新しい付加価値を生み出し、企業価値を高めていきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

株式会社ファンコミュニケーションズ  
代表取締役社長 柳澤安慶

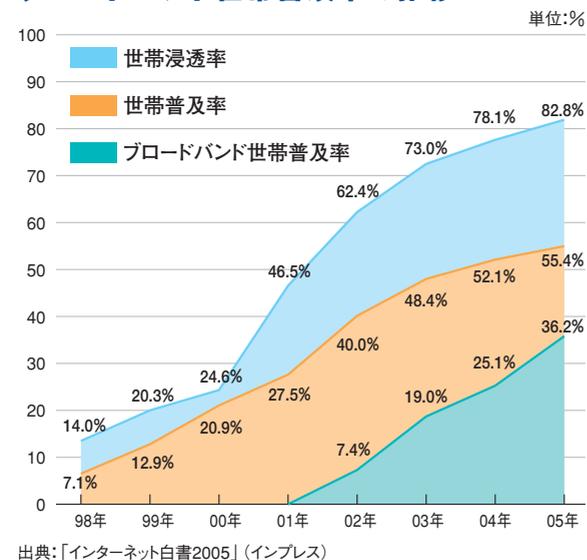



当社が事業領域としておりますインターネット広告市場は、2005年も順調に拡大し、2,808億円の市場規模となっております（電通調べ）。その中で、当社が最も注力している成功報酬型（アフィリエイト）広告もその存在感を高めてきております。

その背景といたしましては、企業のWEBや電子商取引への取り組みがますます高まっていること、広告予算が少ない企業に成功報酬型広告が重要なマーケティング手段であると認識されたことなどがあげられます。

また、ブログという簡単にホームページを作成する仕組みが定着してきたことで、広告を掲載するアフィリエイトサイトの数も急増しており、成功報酬型広告の市場の広がりを後押ししております。

### インターネット世帯浸透率と世帯普及率、ブロードバンド世帯普及率の推移



### 日本の広告費の推移



### アフィリエイト広告サービス

当社の主力事業は、「アフィリエイト広告サービス」であり、売上高の97%を占めております。この事業はA8.net（エーハチネット）という名称で展開し、ブログやメールマガジンといった広告掲載を希望するコンテンツ（アフィリエイトサイト会員）を会員組織化し、またこのアフィリエイトサイトに成功報酬型の広告を出稿したい広告主を独自開拓しています。

広告主はまず購買や資料請求などの成果報酬条件を会員に提示し、広告掲載を希望する会員の中から掲載先を選定します。消費者が、掲載先の広告を経由して、広告主サイトを訪問し、かつ予め設定した成果に結びついた場合に成果報酬が発生します。A8.net（当社）は両者をサポートす

る役割を担い、広告主に対し、サービス利用に関する基本利用料、成果報酬、当社手数料等を請求します。また、各会員が獲得した成果報酬を集計し、支払を行います。

2005年12月期サービス区分別売上高内訳

サービス区分	金額(千円)	構成比(%)	サービス内容
アフィリエイト広告サービス	4,145,376	97.0	アフィリエイト広告サービス A8.net(エーハチネット)の運営
他社媒体広告販売	91,806	2.2	検索エンジンマーケティング(SEM)サービスを始め、他社広告商品の販売
自社媒体運営	32,810	0.8	会員制のサイトを中心にサービス情報や会員共有情報を提供するサイトの企画開発運営
その他売上	556	0.0	出版、セミナー関連、他
売上高合計	4,270,550	100.0	

### A8.netの仕組み

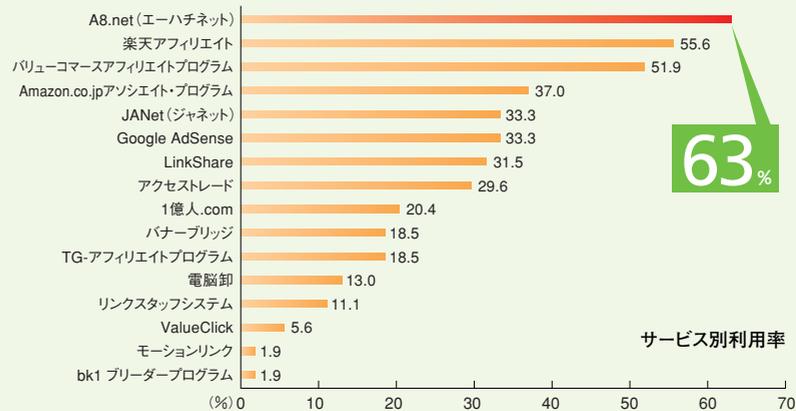


サービス別利用率 (インターネット白書2005/インプレス)

#### 国内で最も利用されているアフィリエイトプログラム

サービス別利用率——63.0%

アフィリエイトプログラムを利用している54サンプルに、具体的に利用しているサービスを聞いたところ、「A8.net」が63%、「楽天アフィリエイト」が55.6%、「バリューコマースアフィリエイトプログラム」が51.9%で、この3つが半数を超えている。全体の利用率をみると、1ユーザーあたり平均4つくらいのアフィリエイトプログラムを利用しているものと思われる。



アフィリエイトサイト数 (2005年12月期末/当社実績)

#### 国内最大級のアフィリエイトサイトネットワーク

アフィリエイトサイト数——246,991サイト  
アフィリエイトサイト会員数——161,011人



稼動広告主ID数 (2005年12月期末/当社実績)

#### 国内最大級のアフィリエイト広告主グループ

稼動広告主ID数——1,913件



今後の方針

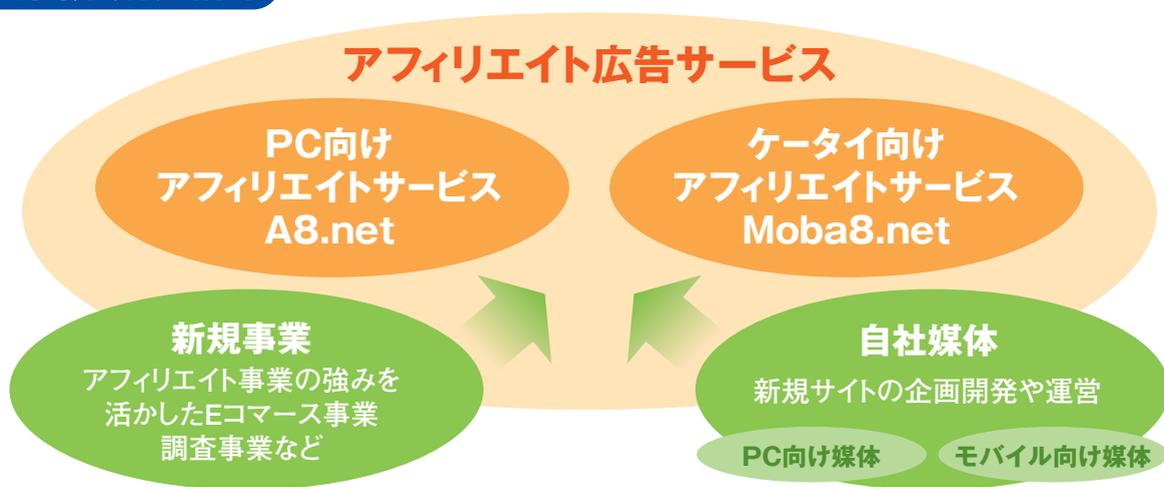
当社は今後も中核事業であるアフィリエイト広告サービスに注力し、売上拡大および利益率の改善に取り組んでまいります。また、この事業区分のさらなる成長を目指して、2006年3月よりケータイ分野向けの同サービスを開始しております。

ケータイ分野は今後、インターネットとのシームレス化や新規キャリアの参入などで、電子商取引環境の整備や広告市場の拡大が期待されております。その中で当社の培ってきたシステムやノウハウを活用し、早期に同分野でのトップシェアの地位を築きたいと考えております。

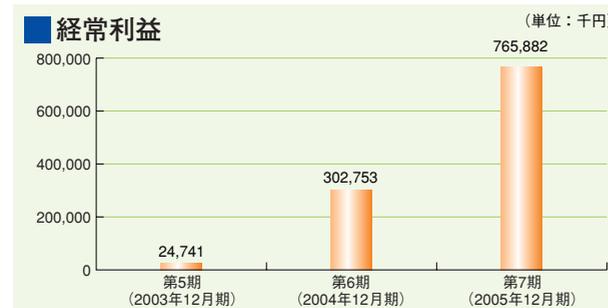
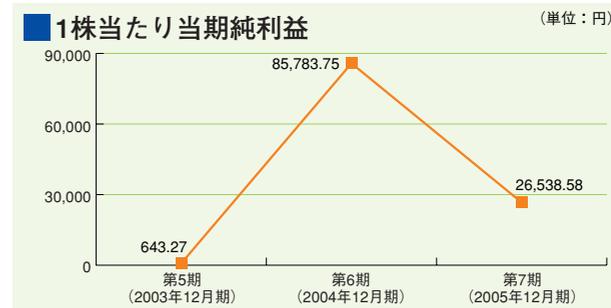
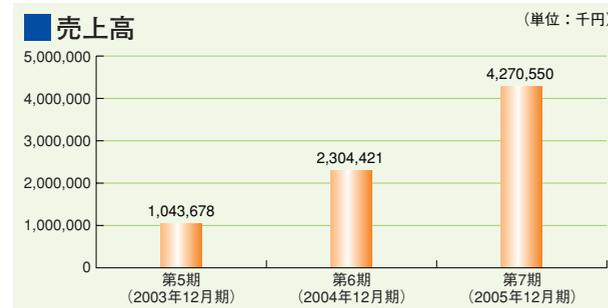
自社媒体につきましては引き続き、パソコン分野、ケータイ分野ともに新規媒体の開発を進め、広告代理店などの販売チャネルを整備し、売上拡大を図る所存であります。

また新規事業として、アフィリエイト広告サービスから生み出される膨大なトラフィックを活用したEコマース事業や自社媒体の会員組織を活用した調査事業など、当社の強みを活かした周辺ビジネスを拡大し、新しい収益の柱を早期に確立したいと考えております。

事業領域概略図



売上高……………42億70百万円  
 経常利益……………7億65百万円  
 当期純利益………4億50百万円



貸借対照表

	第6期 (2004年12月31日現在)	第7期 (2005年12月31日現在)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	666,727	2,995,255
売掛金	379,607	481,084
前渡金	1,940	6,396
前払費用	5,611	12,299
繰延税金資産	19,000	48,138
その他	2,856	1,553
貸倒引当金	△ 24,707	△ 29,882
<b>1 流動資産合計</b>	<b>1,051,035</b>	<b>3,514,845</b>
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,012	5,533
工具器具備品	19,701	23,375
有形固定資産合計	23,714	28,909
無形固定資産		
ソフトウェア	49,475	26,283
その他	3,809	—
無形固定資産合計	53,285	26,283
投資その他の資産		
投資有価証券	20,062	177,772
出資金	10	—
破産更生債権等	3,088	2,745
長期前払費用	—	1,972
繰延税金資産	2,288	1,497
敷金及び保証金	22,700	44,402
貸倒引当金	△ 3,088	△ 2,745
投資その他の資産合計	45,061	225,645
<b>2 固定資産合計</b>	<b>122,060</b>	<b>280,837</b>
資産合計	1,173,095	3,795,683

- 1 流動資産は、前会計年度末に比べて2,463,810千円の増加となりました。これは主に現金及び預金が2,328,528千円増加したことによるものであります。
- 2 固定資産は、前会計年度末に比べ158,777千円の増加となりました。これは主に、公社債等の購入により投資有価証券が157,710千円増加、事務所の借増しにより敷金及び保証金が21,702千円増加したことによるものであります。
- 3 流動負債は、前会計年度末に比べて550,661千円の増加となりました。これは主に、規模拡大に伴い買掛金及び前受金が各149,390千円、69,570千円増加、課税所得の増加により未払法人税等が285,368千円増加したことによるものであります。

(単位：千円)

	第6期 (2004年12月31日現在)	第7期 (2005年12月31日現在)
(負債の部)		
流動負債		
買掛金	437,393	586,784
短期借入金	44,000	48,000
未払金	35,848	50,213
未払費用	1,027	2,141
未払法人税等	43,700	329,068
未払消費税等	22,500	38,250
前受金	100,841	170,411
預り金	5,020	6,144
賞与引当金	10,277	20,706
新株引受権	450	—
<b>3 流動負債合計</b>	<b>701,059</b>	<b>1,251,720</b>
固定負債		
預り保証金	33,166	42,266
<b>4 固定負債合計</b>	<b>33,166</b>	<b>42,266</b>
負債合計	734,225	1,293,987
(資本の部)		
資本金	246,150	883,300
資本剰余金		
資本準備金	162,150	1,135,250
資本剰余金合計	162,150	1,135,250
利益剰余金		
当期末処分利益	30,533	481,009
利益剰余金合計	30,533	481,009
その他有価証券評価差額金	36	2,137
<b>5 資本合計</b>	<b>438,870</b>	<b>2,501,696</b>
負債・資本合計	1,173,095	3,795,683

- 4 固定負債は、前会計年度末に比べて9,100千円の増加となりました。これは規模拡大に伴い顧客からの預り保証金が9,100千円増加したことによるものであります。
- 5 資本は、前会計年度末に比べて2,062,826千円の増加となりました。これは主に、増資により資本金及び資本準備金が1,551,000千円増加、当期純利益450,475千円の計上によるものであります。

損益計算書

	第6期 自 2004年1月1日 至 2004年12月31日	第7期 自 2005年1月1日 至 2005年12月31日
売上高	2,304,421	4,270,550
売上原価	1,568,741	2,761,579
売上総利益	735,680	1,508,971
販売費及び一般管理費	432,434	707,196
営業利益	303,246	801,775
営業外収益	50	1,323
営業外費用	542	37,216
経常利益	302,753	765,882
特別利益	1,050	—
特別損失	2,151	4,154
税引前当期純利益	301,652	761,727
法人税、住民税及び事業税	43,700	341,040
法人税等調整額	△ 21,313	△ 29,787
当期純利益	279,265	450,475
前期繰越利益又は前期繰越損失(△)	△ 248,732	30,533
当期末処分利益	30,533	481,009

当会計年度は、当社が推進する成果報酬型のインターネット広告サービスの認知は、前会計年度よりもさらに高まり、参加企業数、参加メディア数とも大幅に増加し、順調に売上を伸ばすことができました。

また、売上規模の拡大の中で販売費及び一般管理費も増加しましたが、システム運営等の固定費の比率が減少し、また業務効率化を推し進めた結果、売上高営業利益率を高めることができました。

この結果、売上高は、4,270,550千円（前期比85.3%増）となりました。また、営業利益は、801,775千円（前期比164.4%増）、経常利益は765,882千円（前期比153.0%増）となり、当期純利益は450,475千円（前期比61.3%増）と、大幅な増収増益となりました。

キャッシュ・フロー計算書

	第6期 自 2004年1月1日 至 2004年12月31日	第7期 自 2005年1月1日 至 2005年12月31日
<b>1 営業活動による キャッシュ・フロー</b>	487,194	924,192
<b>2 投資活動による キャッシュ・フロー</b>	△ 43,740	△ 201,588
<b>3 財務活動による キャッシュ・フロー</b>	74,092	1,605,925
現金及び現金同等物の 増減額	517,546	2,328,528
現金及び現金同等物の 期首残高	149,180	666,727
現金及び現金同等物の 期末残高	666,727	2,995,255

- 1 営業活動によるキャッシュ・フローは、924,192千円の収入となりました。これは主に、税引前当期純利益761,727千円の計上、規模拡大に伴う仕入債務149,390千円の増加によるものであります。
- 2 投資活動によるキャッシュ・フローは、201,588千円の支出となりました。これは主に、投資有価証券の取得による176,181千円の支出、事務所の敷金差入による21,702千円の支出によるものであります。
- 3 財務活動によるキャッシュ・フローは、1,605,925千円の収入となりました。これは、主に新株式の発行による収入1,601,925千円によるものであります。

利益処分

	第6期 株主総会承認日 2005年3月30日	第7期 株主総会承認日 2006年3月30日
当期末処分利益	30,533	481,009
次期繰越利益	30,533	481,009

(単位：千円)

2005

1月

アフィリエイトプログラム利用率で「A8.net」が1位に。  
～インターネット白書2005（発行：株式会社インプレス）より～

2月

**プライバシーマークを取得しました。**

2005年7月27日に、財団法人日本情報処理開発協会（JIPDEC）よりプライバシーマーク付与事業者として認定されました。当社では、個人情報保護を最重要課題とし、個人情報保護に関する実践遵守計画（コンプライアンス・プログラム）を策定・実践しています。



3月

4月

5月

6月

アフィリエイト運営代行サービス「A8.net」のパートナーサイト数が20万サイトを突破。

7月

監査法人トーマツ発表  
第3回「デロイト トウシュ トーマツ 日本テクノロジー Fast50」  
テクノロジー企業成長率ランキングで国内第10位を受賞。  
～372%の売上高成長を記録～

8月

9月

**2005年11月30日ジャスダックに上場しました。**

おかげさまで、2005年11月30日、当社はジャスダック証券取引所市場に上場いたしました。今後も引き続き、当社サービスの充実と新たな事業展開で、収益力の向上を図り、企業価値を高めてまいりたい所存です。



10月

11月

就職活動を切り口としたソーシャルネットワーキングサイト「JOB-SHIP（ジョブシップ）」がサービス開始

2006

■ 株式の状況

(2005年12月31日現在)

会社が発行する株式の総数	60,000株
発行済株式の総数	18,776株
株主数	1,956名

※2006年3月1日付けで1対5の株式分割および株式分割に伴う定款の変更を行っており、同日付けの株式の状況は以下のとおりとなっております。  
会社が発行する株式の総数…300,000株  
発行済株式の総数…93,880株

■ 大株主（上位10名）

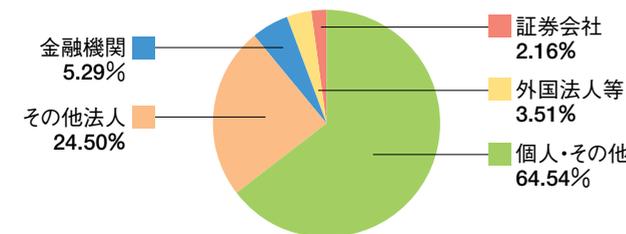
(2005年12月31日現在)

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
柳澤 安慶	5,468	29.12
株式会社インプレスホールディングス	1,320	7.03
楽天株式会社	1,320	7.03
アール・シー・ワイ・ブラザーズ株式会社	1,118	5.95
松本 洋志	526	2.80
張 力牧	524	2.79
小林 直行	466	2.48
大阪証券金融株式会社（業務口）	417	2.22
杉山 紳一郎	374	1.99
内田 徹	366	1.95

■ 株式の分布状況

(2005年12月31日現在)

[所有者別株式分布状況]



■ 会社概要

(2005年12月31日現在)

商号	株式会社ファンコミュニケーションズ
本社所在地	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-1-8 青山ダイヤモンドビル4階
設立	1999年10月1日
資本金	8億8,330万円
従業員数	68名※パートタイマー除く

■ 役員

(2006年3月30日現在)

代表取締役社長	柳澤 安慶
取締役副社長	松本 洋志
取締役	内田 徹
取締役	佐藤 吉勝
取締役	広瀬 計
取締役	堂下 裕章
常勤監査役	柳澤 信美
監査役	柿本 謙二
監査役	出澤 秀二

当社ホームページもご覧ください



当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、当社の事業活動や動向を紹介しております。当社をよりご理解いただくためにも、是非アクセスしてください。

<http://www.fancs.com/>